

TPP大筋合意 豊田の産業 影響は必至

関税のあり方が大きな焦点となった環太平洋連携協定（TPP）交渉が、日米など十二カ国の間で大筋合意に至った。交渉対象となった自動車、農業とも盛んな豊田市では、TPPが発効すれば良くも悪くも大きな影響が予想される。それぞれの産業に携わる市民は大筋合意をどう受け止めているのか。

（河北彬光）

不安な農業 期待の自動車

黄金色に輝く穂を、コ家は今、収穫作業に忙しい。コンバインが次々と刈り取っている。県内最大のコメの生産地、豊田市の農

コメなどを栽培する地元



実ったコメをコンバインで収穫する「中甲」の従業員＝豊田市花園町で

企業「中甲」（前林町）常務の細江重重さん（64）は、従業員の収穫作業を見守りながら「米価下落が心配だ」と話す。

「与えられた条件でやっていくしかない」

「与えられた条件でや

ってきたコメは77.8%

「与えられた条件でや

ついでに、県内最大のコメ

「与えられた条件でや

の生産地、豊田市の農

「与えられた条件でや

コメなどを栽培する地元

「与えられた条件でや

が心配だ」と話す。

「与えられた条件でや

日本が「聖域」と主張

「与えられた条件でや

してきたコメは77.8%

「与えられた条件でや

の高い関税が維持される

「与えられた条件でや

一方、新たに米国、オーストラリア産の無関税輸

「与えられた条件でや

入枠を設けることでまと

「与えられた条件でや

まった。細江さんの頭に

「与えられた条件でや

あるのは、安いコメが流

「与えられた条件でや

入すれば、米価下落に拍

「与えられた条件でや

車か掛かるのではないか

「与えられた条件でや

との懸念だ。

「与えられた条件でや

農地所有者から受託

「与えられた条件でや

し、米作の大規模化を進

「与えられた条件でや

養豚農家を取り巻く環境は厳しくなることが予想される。競争力を付けるため、鋤柄さんは以前から「三州豚」のブランド名で高価格の肉を売り出している。販路開拓に力を入れてきた自負はあるが、先行きは不安だ。「輸入品が増え、食料自給率は下がりに続ける。農業の持続のためにも、国策で一定の保護をしていくべきでは」と考える。

トヨタ自動車の関連企業には、期待の声が多い。日本の自動車部品に對して米国が掛けている関税の大半が撤廃される見込みだからだ。

ある下請け部品メーカーの男性社長は「関税がなくなれば当然、価格競争力が増す」とみる。ただ実際に、自身の仕事にどれほどの恩恵があるかは測りかねた様子だ。「TPPを契機に仕事が増えていけばいいが」と話した。